

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-2 県立病院における良質な医療提供
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	病院局県立病院課長 坪内 清	電話番号	0853-22-5111
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	地域がん診療連携拠点病院としての医療の実施（中央病院）		
目的	(1) 対象	がん治療を必要とする人	
	(2) 意図	適切な医療を受けている	
事業概要	がん医療水準を客観的に評価するため、診療した患者について、診断・治療内容を登録する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	院内がん登録件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		1,000	1,000	1,000	1,000	
式・定義	調査年度の前々年末の登録件数		実績値	1,211	1,225	1,228	1,120		
			達成率		122.50	122.80	112.00		%
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	0	
うち一般財源(千円)	0	

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

院内がん登録件数は対前年度減であるものの、各がん種、治療内容等を把握し、国や県のがん対策の基礎資料を提供するとともに、院内におけるがん治療の実態把握に重要な役割を果たしている。
 なお、指標の実績値は前々年末の値を記載しているが、これは初回の治療から半年以上経過後に登録する仕組みであることと、件数の集計を翌年度下期に行うためである。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

地域がん診療連携拠点病院として、放射線治療や化学療法等の専門的ながん治療を提供している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

地域がん診療連携拠点病院としての機能を維持、更に強化する必要がある。

②困っている状況が発生している「原因」

医療従事者の確保が全国的に困難な状況が続いている。

③原因を解消するための「課題」

地域がん診療連携拠点病院としての機能を強化するため、院内がん登録をはじめ院内体制の強化及び医療機器等の充実を図る必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

院内の体制強化のため、緩和医療に係る専従医師の確保を図るとともに、医師、看護師、薬剤師及び診療放射線技師等がん医療の中核となる医療従事者の研修受講を促進し、専門性の一層の向上を図る。
 また、がんの診断および治療の充実を図るため、引き続き必要な機器の更新・導入を図る。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）